

-
1. 今起きている変化
 2. 日本の取組み
 3. Digital Transformationによる価値創造例
 - 4. Digital Transformationによる価値創造のポイント**
 5. Society5.0の実現にむけて

Digital Transformationに向けた**オープンな協創**の実現へ



ビジョン共有

課題の見える化
共有

知恵を創出
解決策検討

具現化
価値創造

オープンなデータ利活用の推進

人材

オープン
プラットフォーム

セキュリティ/AI

Digital Policyの**確立**

イノベーションエコシステム

大学/研究機関

ベンチャー/企業群

政府/自治体

Co-design, Co-creation,
Collaboration

データで課題を見える化し、オープンプラットフォームで知恵を蓄積・活用

めざす社会



価値創造



データを知恵にする
人の気づかない知見獲得



データを分析する
課題を見える化し共有を促進

データにアクセスする
バラバラに存在するデータを活用



将来の提供価値を「見える化」する

- イノベーションアイデアをインタラクティブに検証する、社会システムシミュレータ
- システムのふるまいとお客様の経営KPIを、迅速かつ同時に評価



鉄道ソリューション適用例

- ・地下鉄敷設による都市交通渋滞の解消
- ・人流や道路交通を含めた統合シミュレーション



各極に顧客協創拠点を整備、共感の醸成を促進

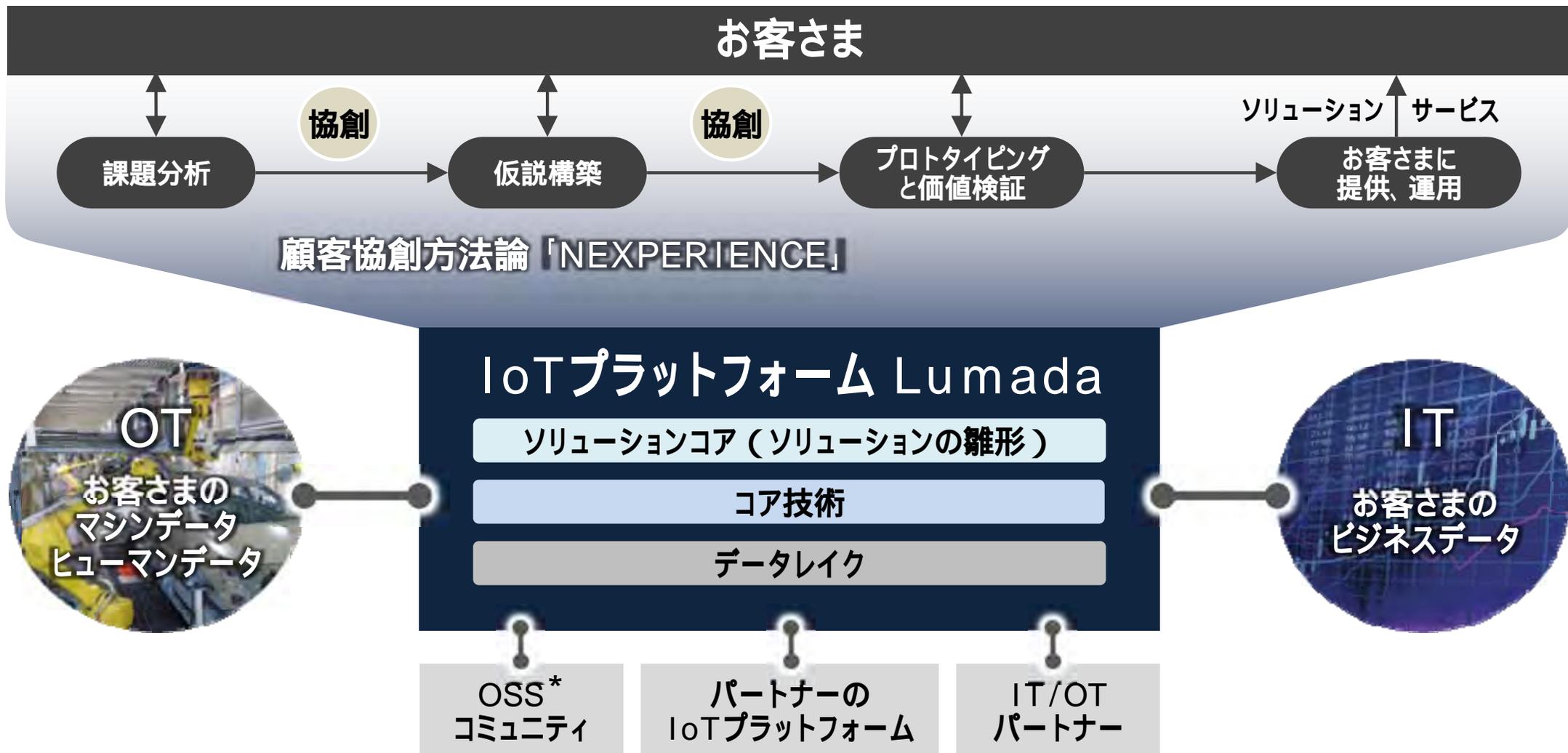
The image features a world map with several regional labels and inset photographs showing customer co-creation hubs. The labels include:

- 赤坂 (Akasaka)
- 横浜 (Yokohama)
- CSI 欧州 (CSI Europe)
- CSI 中国 (CSI China)
- CSI 東京, CTI (CSI Tokyo, CTI)
- CSI 北米 (CSI North America)
- CSI APAC (CSI Asia-Pacific)
- サンタクララ (Santa Clara)
- ロンドン (London)

The inset photos and their captions are:

- 赤坂: '15/10 協創拠点開設 (Akasaka: Co-creation hub opening in Oct '15)
- 横浜: '16/12 オープンラボ開設 (Yokohama: Open lab opening in Dec '16)
- ロンドン: '17/4 新オフィス、協創拠点開設 (London: New office and co-creation hub opening in Apr '17)
- サンタクララ: '16/1 協創拠点開設 (Santa Clara: Co-creation hub opening in Jan '16)

お客さまやパートナーと自在につながり、ソリューションを迅速に協創



見通せた時代

- ・大学シーズと企業ニーズの個別マッチング
- ・限定された分野で、技術的なゴールをめざし確立されたプロセスで推進

不確実な時代

- ・大学の知の集積を活かして企業とともに価値創造・社会課題解決
- ・価値創造の大きなゴールのもと、持続可能な社会の仕掛けを創出

エネルギー安定供給

少子高齢化・介護

人口減少・生産性向上

地域の格差

安全安心・持続可能な社会



データ利活用

技術

学術

Platform

政策・規制

人材

バリエーション

PPP PFI

パートナーシップ

投資スキーム

ベンチャー

Society5.0時代の産学連携による価値創造

ビジョン創生 ありたき社会・ゴール

課題抽出 社会課題の設定

トータルイノベーションエコシステム構築

早期の社会実装

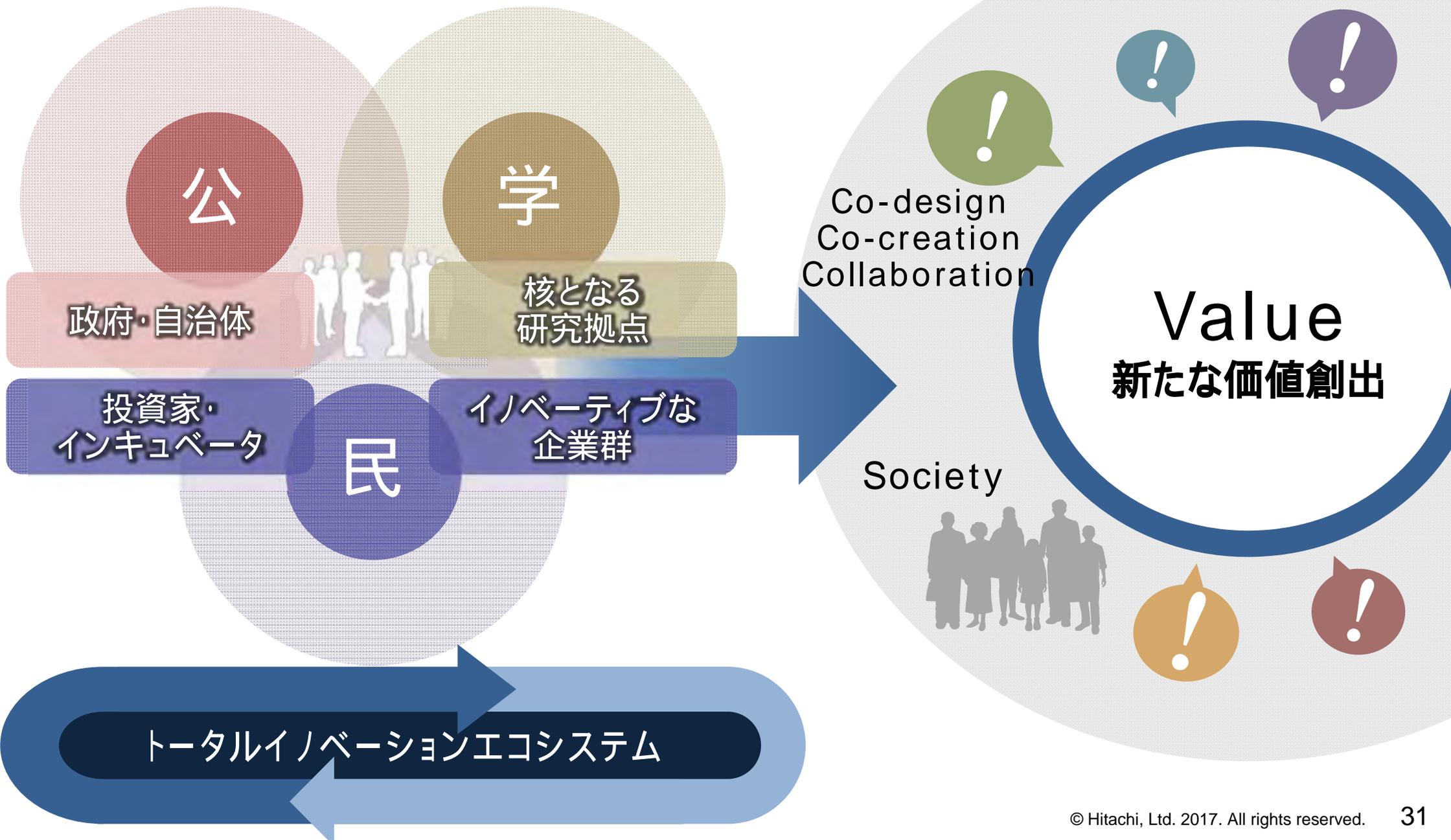
新産業創出による経済駆動
新学術領域の創生

まちづくり



エネルギー





-
1. 今起きている変化
 2. 日本の取組み
 3. Digital Transformationによる価値創造例
 4. Digital Transformationによる価値創造のポイント
 5. **Society5.0の実現にむけて**

WEF(World Economic Forum)での議論： リーダーの責任は、デジタルを生活者のBenefitに変え、ゴールを示すこと

2015:The new global context 技術発展の光と影

IoT, Big Data, AI, Robotics, Machine Learning等、技術の発展が社会に与える光と影を討議

(光：Industrie4.0による欧州産業の復権、影：Robotによる雇用奪取・Robot兵器の出現etc.)



2016:Mastering 4th Industrial Revolution

Innovationに伴うUncertaintyを所与のものとして、これら技術をどう活用して行くか、Industrie4.0/Industrial Internet等の動向を、今後の政策・経営施策に反映するかを討議

2017:Responsive and Responsible

A Compact for Responsible Business Leadership

How can industry leaders restore the compact between business and society, ensuring that companies are responsive and responsible to all their stakeholders

SDGsを共通のゴールに Co-design・Co-creation・Collaboration

Society5.0は「課題解決」と「未来創造」の視点を兼ね備えた新たな成長モデル さらには、国連で掲げられたSDGsの達成にも大いに貢献するもの

水質、森林、土地劣化、生物多様性などのモニタリングおよびマネジメントに、リモートセンシング・データや、海洋観測データを活用

スーパーコンピューターを用いて、気象観測データの解析に基づくシミュレーションにより、気候変動問題を解決

利便性、安全性、経済性を両立させたスマートな都市を創出

産業界、学术界、その他のステークホルダーを結びつけることで、グローバルなイノベーションエコシステムを構築

i-Constructionを活用し、レジリエントなインフラの構築と持続可能な産業化を促進



IoT、AI、ビッグデータを活用したスマート農業により食糧生産を増大
最先端のバイオテクノロジーを用い生産されたスマートフードにより栄養状態を改善

多種多様なモニタリングデータを組み合わせ、感染症予防のための早期警戒システムを開発

最先端の技術を活用したeラーニングシステムを用いることで、地球上の誰もが高品質の教育を手頃な価格で享受可能に

インターネットを通じた教育や情報へのアクセスにより女性の地位を向上
ICTを活用して女性に起業の機会を提供

スマートグリッドシステムの構築による持続可能な電力需給の管理

S I Pの特徴

- ・府省・分野縦割りを排し, 社会課題解決, 産業力強化
- ・課題先進国日本の強みを生かしたイノベーション創出のフラグシッププログラム

パブリック・プライベートセクターの連携を加速し

世界へ貢献

エネルギー キャリア	インフラ維持管理・ 更新マネージメント	自動走行 システム	革新的 構造材料	次世代 パワーエレクトロニクス
次世代 海洋資源調査	レジリエントな 防災減災	革新的 設計生産	革新的 燃焼技術	次世代 農林水産業
重要インフラサイバーセキュリティ				

社会課題と対応するシステム

サイバーの知恵をリアルの生活に生かし 一人一人のニーズにあわせ価値創造 新しい産業への変革に舵切り

Society 5.0
実現を通じて
SDGsに貢献

オープンイノベーション

データ利活用

HITACHI
Inspire the Next 